



Ultra SCSI (FAST-20)

PCI SCSI Board

REX-PCI 30LH

Mac

トラブルシューティング
マニュアル



Mac

2002 年 9 月

第 1.0 版

RATOC
Systems, Inc.

ラトックシステム株式会社

<http://www.ratocsystems.com>

目次

Mac でのトラブルシューティング	1
ALPS 製プリンタ MD-xxxx を使用の場合	1
スキャナが認識されない場合	1
REX-PCI30LH を装着するとシステム起動が遅くなる場合	1
SCSI 機器が認識できなくなるときがある場合	2
ハードディスク、リムーバブルディスクのマウントについて	2
スロット NO が表示されない場合	3
SCSI コンフィギュレーションができない場合	3
REX-PCI30LH に接続したハードディスクからブートできない場合	3
データ転送中にハングアップする場合	4
FUJITSU MO(M2512A,M2513A) を使用の場合	4
SCSI-2 と表示される場合	5
CPU アクセラレータと同時使用の場合	5
内蔵の SCSI バス接続と速度が変わらない場合	5

Mac でのトラブルシューティング

REX-PCI30LH を Power Mac で使用する場合の主なトラブルシューティングについて説明します。REX-PCI30LH の Setup CD-ROM の「はじめにお読みください」ファイルに追加情報がありますのでご覧ください。また、最新の情報については、インターネットの弊社ホームページ上の FAQ (質問と回答) のコーナをご覧ください。

ALPS 製プリンタ MD-xxxx を使用の場合

Q: ALPS 製プリンタ MD-xxxx を接続するとハンギングアップします。

A: SCSI コンフィギュレーションユーティリティにて、以下の手順で設定してください。

1. REX-PCI30LH に接続してある SCSI 機器の電源を OFF にします。
2. SCSI コンフィギュレーションを起動します。
3. パリティを「無効」にします。

ALPS 製プリンタ MD-xxxx に該当する SCSI-ID に該当する以下の値を変更します。

- ・ディスコネクトとコマンドキューリング：「なし」
- ・転送速度：「非同期」

4. 「OK」を押して書き込み後、パソコンの電源を切ります。
5. 通常の環境に戻します。

スキャナが認識されない場合

Mac

Q: スキャナソフトからスキャナが認識されません。

Apple システムプロファイルからは SCSI デバイスとして認識されています。

A: スキャナソフトが拡張 SCSI ボードに対応していない可能性があります。拡張 SCSI ボードへの対応についてはスキャナのメーカーへお問い合わせください。

REX-PCI30LH を装着するとシステム起動が遅くなる場合

Q: REX-PCI30LH を導入する前に比べて、システム起動時間が遅くなりました。

A: 仕様です。システム起動時にパソコンが REX-PCI30LH を認識する処理と REX-PCI30LH が接続している SCSI 機器を認識する処理が追加されるため、システム起動が 10 秒から 20 秒ほど遅くなります。起動が遅くなる時間がこの範囲であれば正常に動作しています。

SCSI 機器が認識できなくなるときがある場合

Q: 接続されているはずの SCSI 機器が認識されなくなることがあります。

A: ビデオアクセラレータ系のボードが隣のスロットに装着されている場合、起こります。

以下は、各機種における推奨のスロット位置です。参考にしてください。

9500/9600 系 スロット 1-3 に装着し、ビデオをスロット 4-6 に装着

8500/8600 系 スロット 1 に装着し、ビデオをスロット 3 に装着

Umax 互換機系 スロット 3-6 に装着し、ビデオをスロット 1-2 に装着

7000 系 スロット 1 に装着し、ビデオをスロット 3 に装着

G3 / G4 系 特にありません

ハードディスク、リムーバブルディスクのマウントについて

Q: 接続したハードディスク、リムーバブルディスクをマウントできません。

A: REX-PCI30LH にはフォーマットソフトは添付しておりません。

リムーバブルディスク (MO, PD, Jaz 等) やハードディスクを使用する場合は、市販のものを別途ご用意ください。

リムーバブルディスク、ハードディスクをマウントするには、フォーマッタソフトをインストールしておく必要があります。

特にハードディスクは、フォーマッタによる自動マウント機能を有効にしておく必要があります。

例えば、B'sCrew では以下の手順となります。

1. コントロールパネルより B'sCrew Control を起動します。
2. 自動マウントさせたいハードディスクを選択します。
3. ドライバ設定を選択します。
4. 「起動時にドライバのインストールを試みる」にチェックを入れて、「OK」を押します。
5. B'sCrew Control を終了して、システムを再起動します。

ご使用のフォーマッタに自動マウント機能がない場合は、OS 起動後に手動でマウントする必要があります。

マウント方法については、個々のフォーマッタのマニュアル等でご確認ください。

スロット NO が表示されない場合

Q: SCSI 一覧メニューで PCI30LH のスロット NO が表示されません。

A: 以下のことを試してみてください。

1. マザーボード上のリセットスイッチ (PCI スロットの近くにある小さなスイッチ) を押してください。 (システムが完全に初期化されます) リセットスイッチの詳細な場所の説明については、パソコンのメーカーにお問い合わせください。
2. REX-PCI30LH の装着する PCI スロットを変更してみてください。表示されない場合、ハードウェアの故障が考えられます。
弊社サポートセンターまでお問い合わせください。

SCSI コンフィギュレーションができない場合

Q: SCSI コンフィギュレーションユーティリティが途中でハンギングアップしたり初期化できないなどのエラーとなります。

A1: 接続してある SCSI 機器の電源が ON の場合、起こります。SCSI 機器の電源を OFF にしてください。以下の手順で行います。

1. REX-PCI30LH に接続してある SCSI 機器の電源を OFF にします。
2. SCSI コンフィギュレーションを起動します。
3. 設定を変更します。
4. 「OK」を押して書き込み後、パソコンの電源を切ります。
5. 通常の環境に戻します。

SCSI コンフィギュレーションユーティリティは、CD-ROM のまま起動するか REX-PCI30LH に接続されていないハードディスクから起動してください。

A2: Config Driver を機能拡張にコピーしてある場合、起こります。

SCSI コンフィギュレーションを実行させるために機能拡張に入れるファイルは何もありません。

Mac

REX-PCI30LH に接続したハードディスクからブートできない場合

Q: REX-PCI30LH に接続したハードディスクにシステムをインストールしましたが、ブートできません。

A: 接続された SCSI 機器からブートさせるには SCSI-BIOS が必要ですが、REX-PCI30LH にはこの BIOS は搭載されておりません。したがって、接続した機器からのブートはできません。これは、REX-PCI30LH の仕様です。

データ転送中にハングアップする場合

Q: データ転送中にハングアップしたりブートアップしなくなったりします。

A1:

- SCSI ケーブルが良質のものか確認してください。
ディジーチェインしているときは、同じ特性のケーブルで統一します。
- ターミネータはアクティブターミネータか確認してください。
- SCSI ケーブル長が総計 1.5m 以内(Ultra の場合)であるか確認してください。
外付けユニット 1 台で約 15cm 使用します。
試しに SCSI 機器の台数を減らしてみるとよいでしょう。

A2: SCSI の転送に問題があります。

MacBENCH 等のユーティリティで、長時間アクセスが可能かどうかお確かめください。

SCSI 転送に問題があるとき、拡張ボードをすべて取り外して実行してください。

ビデオアクセラレータが必須の場合、機能拡張より関係するモジュールを未使用にしてください。これで SCSI の転送に問題がなくなります。拡張ボードは装着するスロットがパソコンにより決められている場合があります。それぞれの拡張ボードメーカーにお問い合わせください。

Mac

FUJITSU MO(M2512A,M2513A) を使用の場合

Q: FUJITSU MO を採用している古い MO ドライブを接続するとハングアップします。

A: FUJITSU MO を採用している比較的古い MO ドライブを接続するとハングアップする場合があります。SCSI コンフィギュレーションユーティリティにて、転送速度を 10MB/s に設定してください。以下の手順で行います。

1. REX-PCI30LH に接続してある SCSI 機器の電源を OFF にします。
2. SCSI コンフィギュレーションを起動します。
3. FUJITSU MO に該当する SCSI-ID の転送速度の値を 10MB/s に変更します。
4. 「OK」を押して書き込み後、パソコンの電源を切ります。
5. 通常の環境に戻します。

SCSI-2 と表示される場合

Q: Ultra SCSI の機器を接続していますが、フォーマットソフトの詳細情報で確認すると適合規格が「SCSI-3」と表示されず、「SCSI-2」と表示されます。

A: 適合規格の表示は、SCSI 機器側が返す値 (Inquiry データの ANSI バージョン) をそのまま表示しています。

UltraSCSI 対応の機器であってもその SCSI 機器側が、「SCSI-2」を返しているためこのような表示になります。

SCSI 機器側が、「SCSI-3」と返せば、「SCSI-3」と表示されます。

ほとんどの UltraSCSI ハードディスクは「SCSI-2」を返します。詳細についてはドライブメーカーへお問い合わせください。

CPU アクセラレータと同時使用の場合

Q: CPU アクセラレータを装着しているが、接続しているハードディスクが見えなくなったり、パソコンが起動しなくなったりします。

A1: システムバスの環境の初期化が必要と思われます。マザーボード上の PCI スロットの近くにリセットスイッチがありますのでそれを押します。リセットスイッチの詳細な場所の説明については、パソコンのメーカーにお問い合わせください。

A2: CPU パワーレートを調整できる場合は、レートを下げてみてください。

A3: CPU アクセラレータによっては、L2 キャッシュ、バックサイドキャッシュ等の取り外しが必要な場合があります。詳しくは、CPU アクセラレータの説明書をご確認ください。

Mac

内蔵の SCSI バス接続と速度が変わらない場合

Q: ハードディスクのアクセス速度向上のために REX-PCI30LH を装着したが、今までと変わりません。

A: ハードディスクの能力がすでに最高値になっています。

ハードディスク購入元またはメーカーにお問い合わせください。

また、弊社サポートセンターに問い合わせる場合、測定ツールの値と 50MB のファイルのコピー時間を計測して比較して頂く様お願いします。